



## 新機能および変更された機能

- [新機能および変更された機能に関する情報 \(1 ページ\)](#)

### 新機能および変更された機能に関する情報

次の表は、この最新リリースまでのガイドでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、このリリースまでのこのガイドの変更点や新機能の中には一部、この表に記載されていないものもあります。

Cisco APIC のリリースバージョン	特長	説明
4.2(3)	ストップ CRC エラー	<p>CRC エラーが次のカテゴリに分類されるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• Stomped CRC エラー : カットスルー スイッチングされた破損フレームです。</li><li>• CRC エラー : ローカルでドロップされた破損フレームです。</li></ul> <p>詳細については、「<a href="#">CRC およびストップ CRC エラーカウンターの表示</a>」を参照してください。</p>

Cisco APICのリリースバージョン	特長	説明
4.2(1)	新しい <b>avread</b> コマンドが追加されました。このコマンドは、 <b>acidiag avread</b> コマンドと同じ情報を表形式で提供します。	<a href="#">acidiag コマンド</a>
	クラスタの正常性を確認する <b>cluster_health</b> コマンドが追加されました。	<a href="#">CLI を使用した Cisco APIC クラスタの確認</a>
	スイッチ検出の問題をトラブルシューティングするために、 <b>show discoveryissues</b> コマンドが追加されました。	<a href="#">スイッチ検出の問題のトラブルシューティング</a>
	このリリースでは、出力を人間が判読できる形式に変更するオプションが <b>Embedded Logic Analyzer Module (ELAM)</b> ツールに追加されました。これにより、重要な情報を迅速かつ効率的に見つけることができます。さらに、読みやすさを向上させるために、16進値が10進値に変換されている場合があります。下位互換性のために、ELAM の既存の使用方法はそのまま維持されます。	<a href="#">固定フォームファクタースイッチの簡易出力での ELAM レポートの生成</a> <a href="#">モジュラ スイッチの簡略簡略出力での ELAM レポートの生成</a>

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。